

令和4年度 交通安全活動について

交通安全実践事業所名

福井県民生活協同組合 本部センター

活動内容

・年間学習テーマに基づく隔月 学習会の開催

事故や違反から見えてくる原因を細部検証すると運転時の動作や目視確認、運転手順等に問題があったことがわかってきました。運転者ひとりひとりの気構えや意識、長年の経験からくる技術は何時にも教育指導内容として影響が大きいものだと思います。

事業所内で運転エキスパート職員から運転ビギナー職員や高齢ドライバーへ「運転基本動作手法」や「危険予知走行」を伝えていく運転風土になることを目的として定時開催を行なっています。※画像添付

・安全運転月間ニュースの発行

組織内全事業所向けに毎月、安全運転ニュースを配信しています。

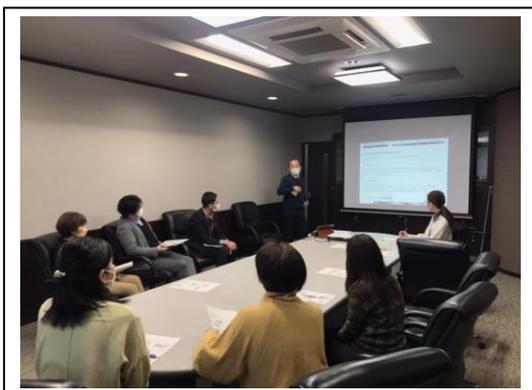
事故違反の月間数値、累積数値、事故違反の詳細とそれに向けた対策及び指導コメントを掲載して、職員隔々まで配信しています。（紙面配布も有り）

・運転技能自動評価システム受講の推進と教育指導

生協全事業に向けて、最寄りの所轄警察署での受講を要請しています。

受講結果を集約、特に20歳～30歳、60歳以上職員への教育指導が今後の課題と考えています。

活動の様子（写真）



写真①

1月度学習会（管理福祉本部）

テーマ：雪道の運転について